

(2) 推進するために

キャリア教育は、教育活動全体を通じて体系的・系統的に行います。学校全体で共通理解を深め、計画的に実施することで、より教育効果が高くなります。

以下のものを準備し、進めていきましょう。

推進体制の整備（キャリア教育推進委員会の設置）

定期的に各学年の進捗状況を把握するとともに、アンケート調査の分析等を行い、推進上の現状や課題、児童生徒の変容を理解し、必要に応じて、年間指導計画の修正を検討することが大切です。

全体計画の作成

自校のキャリア教育の基本的な在り方を内外に示すとともに、学校の特色や教育目標に基づいたキャリア教育の教育課程への位置付けを明確にするものであり、体系的に進めていくために欠かせないものです。

年間指導計画の作成

各発達の段階における能力・態度の到達目標を具体的に設定するなど、全体計画で作成した「身に付けさせたい力」と特に関連の深い内容を洗い出し、つなげて可視化することが大切です。

評価規準の作成

子どもたちの変容や成長をていねいに見取り、その結果を教育活動の改善につなげることが大切です。

校内研修の実施

キャリア教育充実のためには、教員の指導力の向上が必要不可欠です。全教職員が協同してキャリア教育に取り組めるよう、年間を通した校内研修を実施します。

～キャリア教育を効果的に進めるために～

キャリア教育を推進することについては、「あれもこれもやるが多すぎて、キャリア教育どころではない」「キャリア教育をどう進めていけばよいか、よくわからない」といった疑問や不安の声もあります。しかし、キャリア教育は、特定の教育活動を指すのではなく、学校教育全体をとおして体系的に行われるものです。今行っている教育活動をキャリア教育の視点から振り返ってみると、すでにキャリア教育に取り組んでいることが分かります。中学校区で子どもにつけたい力をキャリア教育の視点からとらえ共有することで、系統的に、そしてより効果的にキャリア教育を進めることができます。